



6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます



【6年学年訓 『飛翔』】

柔らかな日差しに誘われ、桜が花開く時期を迎えようとしています。このよき日に、6年生103名が高浜小学校を卒業します。

新型コロナウイルス感染が世界的に広がるという、かつてない非常事態の中、異例の小学校生活最後の1年でした。今まで通りにできないことばかりでしたが、6年生は、学年訓「飛翔」を掲げ、困ったとき、問題にぶつかったとき、いつも、この原点に立ち返り、「何のためにやるのか、そのためにはどうやってやるのか」といつも考えていました。修学旅行は一泊したかっただろうけど、宿泊しなくても、誰もが楽しく、気持ちよく

行ってくるには、どう行動したらいいか、自分たちで意見を出し合い、実行していました。修学旅行の最後、時間がなく大急ぎでバスに戻り、満足にお土産を買えなかった子たちがいましたが、このことを後悔していないのは、何が大事か分かっていたからでしょう。

運動会では、6年生として全校の前で見せ場をつくりたかったと思います。しかし、自分で種目を選び、互いに応援し合った「飛翔☆運動会」では、これまでとは違う充実感を味わったことでしょう。また、全員で一つの目標を目指した「長縄」では、多くの困難を乗り越え、いつも以上の喜びを味わうことができたそうです。今まで通りにできなくても、それは、大きな問題ではなく、「いかにやるか」、そこに価値を見出していった6年生に心動かされました。この1年の困難を乗り越えてきた経験は決して無駄にならず、必ず次のステップのために生きていきます。

進学する中学校では、6年生のよさや可能性をさらに伸ばしていける、新たな出会いが待っています。また、自分で考え判断することが増えていきます。自分で決めることは覚悟がいきり、責任もあります。しかし、その分、納得のいくものになります。そして、仲間とともにやり遂げた達成感は、何ものにも代えがたいものです。これからも、人・もの・ことに自分から進んで関わり、仲間と共に成長して行ってほしいと思います。



【103人6年間協働の証】

6年生の保護者の皆様には、お子様が立派に成長され、ご卒業の時を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。お子さんを学校に送り出すことは、決して楽なことではありません。しかし、お子さんの小さな成長に心動かされ、微笑んだことも数えきれないくらいあり、喜びも多かったと思います。学校といたしましてもお子様の大事な少年期の成長に関わらせていただいたことを誇らしく思っております。

また、高浜小学校等整備事業は大詰めを迎え、今日こうして、新体育館においてはじめての卒業式を挙行することができたことを大変うれしく思います。これまで校舎建て替えのため、変則的なことがたくさんありましたが、ご理解とご協力をいただいたことをあらためて感謝いたします。

(文責 中川健二)